



尚綱高校の先生たちの 教育に対する思い

「教育に携わる者として」

理科 重信弘子

正月三日、朝の街中で、小走りの白衣姿の若い女性が私の前で立ち止まり、年始の挨拶と共に、「いつも妹がお世話になってます。仕事で急いでいますので失礼します、すみません。」と丁寧に挨拶をして駆け去った。三年前の卒業生だった。その妹を現在担任している。若者らしい爽やかな礼儀正しさに、清々しい嬉しさでいっぱいになった。在学中からは想像もつかない言動に正直驚いたが、彼女の成長ぶりがとても素敵だった。

人は、育てられてこそ人となる。家庭の愛情と熱、地域社会の人々との関わりや様々な経験、そして学校の生活。尚綱は110余年の間、中国の古典、詩経の中の教えを軸に多くの生徒を育てて来た。いつの時代も人として生きるのに規範とすべきものは変わらない。明るく、謙虚な姿勢でよく見守り、考え

丁を扱う事ができて皮むき機を使う人」と「包丁を扱うことが出来ずに皮むき機を使う人」の2種があることがわかった。これは意味が全く違う。基本的なことを習得せずに安易に楽な方を選択している人が多くいることに問題がある。家庭科は生活に密着した教科だけにこれからの生きる術を学んで欲しい。と同時に切る、洗う、ゆがく、絞る、結ぶ、縫う、畳むなどの基本的なことがどれ程大切であるのか、それを教えることが今からの家庭科の教員としての私の使命であると思う。

「進路」

進路部長 数学科 菅義隆

高校生活は、将来の夢を描くことのできる大切な時期です。また、自立を目指す時期でもあるのです。この時期に、友人切磋琢磨し夢の実現に向かって自分の限界に挑戦することは、これからの人生において貴重な体験となるでしょう。また、自分を育てる上でも良い機会であり、きっと大きな自信となることでしょう。

これからの人生については、まだおぼろげにしか見えてこないかも知れませんが、大切なのは将来に対する夢や理想を持ち続け、目標に向かって生き

て努力する女性に育ってほしいと願っている。環境が与える影響は小さくない。まずは「魁より始めよ」で、自らを律して励みたいと思う。

「尚綱の輪」 社会科 山道尚幸

本校では、体育祭で学年ごとにマステゲームを演じます。特に、二年生のマステゲーム「扇の舞」は、水前寺陸上競技場のフィールド



下一杯を使って、優雅に演じられます。三年生にとっては、思い出深いものとなっております。ある年のことです。事前の練習ではもちろん、予行日になっても全く演技が完成していませんでした。「今年の二年は、これでは本番が心配だ。注意と気合いを入れてください。」という声があり、それで、私を含めた三年生の担任は、予行終了後、三年生だけを集めました。私は、今日進行をしているY先生へ話をしてもらえないかとお願いしたら、彼はその時にこう言いました。「注意とかおこらんでよかでしょう。明日は、こぎゃんこつばしようじやなかや。納得のいくこつしよう。」こんな話

でよかですか。」Y先生は、自分の気持ち、二年生の担任の気持ちをみんなに代わって話していました。横の方が生徒よりも感激しました。当日は緊張しましたが、行進が終わると、担任みんなで見守り、演

習を身につけさせることにしています。情報ビジネスコースでは、コンピュータ処理能力を高めるための情報実技、硬筆、毛筆の資格検定取得を目標とした書道実技、国際感覚を学ぶための情報英語の三つの学校設定科目を実施します。医療系コースでは、女子生徒が不得手とする化学Ⅱ、生物Ⅱ、数学の教科を増やし、理科系科目の強化を図ると同時に、職業特性として求められる分析観察力、課題発見能力養成のための研修等を長期休業中に実施することにしています。

「家庭科を通じて教えたこと」

家庭科 大城多恵子



るという姿勢なのです。

進路は最終的には、自分で決断をし、自分の力で切り開いていくべき性質のもの。しかし、それは保護者の理解と協力がなくてはなかなか叶えられるものではない。そして、水前寺にやりたいと思っていることは何か、また、適性や能力を開花させるにはどの道を選ぶのが良いか、親子でじっくり話し合うことが大切です。本人の希望を優先するのは勿論ですが、その分野に適性があるのかないのか、冷静に我が子を見つめてください。決して押しつけることなくヒントを与えるような気持ちでアドバイスをしてほしいものです。

生徒の皆さんが積極的な高校生活を送り、夢が実現することを願ってやみません。

コース制の新設

コース名	主な進路
幼児教育コース	短大幼児教育／幼児教育系／芸術系(美術・音楽)
食物栄養コース	大学栄養科学／短大食物栄養／その他の食物
文系コース	私立大学文系
情報ビジネスコース	大学文化言語学部書道／短大総合生活／各種専門学校／就職
医療系コース	各種医療系

幼児教育コースでは、必須科目であり、生徒にとって困難なピアノ・歌唱造形表現などの技術・技能の習得のために学校設定科目として「音楽実技」・「美術実技」を設置しています。

食物栄養コースでは、進学後に不可欠な理数教科の基礎学力の徹底を図るために、化学Ⅱ、生物Ⅱの他に、食物Ⅱを設定し、調理実習を中心とした食に関する知識、技術の修得をめざしています。

文系コースでは、国語、英語の基礎学力を養うため、現代文、古典、リーディング、ライティングの授業時間を増やし、語学の表現力、

応用力を身につけさせることにしています。

情報ビジネスコースでは、コンピュータ処理能力を高めるための情報実技、硬筆、毛筆の資格検定取得を目標とした書道実技、国際感覚を学ぶための情報英語の三つの学校設定科目を実施します。

医療系コースでは、女子生徒が不得手とする化学Ⅱ、生物Ⅱ、数学の教科を増やし、理科系科目の強化を図ると同時に、職業特性として求められる分析観察力、課題発見能力養成のための研修等を長期休業中に実施することにしています。